



あさひょうたん か
朝小短歌

はじまります

3面



イラスト・みるくひろう

2面 ビリー・エリオット演じる

6面 勉強の前に音楽を

7面 完結まで2回



地球の課題は自分事 発信しよう

第7回こども新聞サミット (東京)



こども新聞サミットの様子。27日、東京都江東区

全国12の新聞社のこども記者が一堂に集まる「第7回こども新聞サミット」(主催・こども新聞サミット実行委員会、協賛・三菱広報委員会、浜学園、ロボット科学教育クレファス)が27日、東京・日本科学未来館でありました。サミットがかかる「よりよい世界をつくるためには」というテーマと向き合い、みんなで最終提言をまとめました。(中尾浩之)

全国12の新聞社のこども記者18人が議論

全国のこども記者18人が集結。サミットで提言をするために、三つのチームに分かれ、この日までに、チームごとのテーマについて取材をしたり、発表の準備を進めたりしてきました。

朝小代表には、朝小リポーターの藤田めぐみさん(神奈川県・5年)と中山桃樹さん(東京都・4年)が参加。チームAで「国際理解を深めるためには」というテーマで事前の取材や話し合いを重ねてきました。

2人が事前に取材したのは、国連広報センター(東京都)の所長、根本かおるさんです。難民支援の現場などでのエピソードや経験を根本さんから学び、「多様性を築く」と「オープンマインドで接する」「相手を知らうとする」というメッセージを会場で伝えました。



朝小リポーターの藤田さん

チームごとの提言



チームAでの発表にのぞんだ藤田さん(左)と中山さん(左から2番目)

チームA 相手の意見を大事に

自分と相手は違う人、どっちの意見も大事にしよう。広くおだやかな心で自分から話しかけて相手を知ると仲良くなれる。得意なことを教え合い日本と世界をつなげよう。

チームB 新しい技術を応用

人手不足を解消する新しい技術を応用しよう。働く人たちの環境を良くしよう。少子化を解決するために子どもを育てやすい社会にしよう。

チームC CO2排出ゼロの未来へ

目指すのはCO2排出ゼロの未来。地域の取り組み、私の取り組みを伝え合おう。知って、まねして、資源と地球を再生しよう。「めんどくさい」にはサヨナラ。

笑顔あふれる未来に向かって

サミットを終え、朝小の代表として参加した2人は充実した笑顔を見せていました。藤田さんは「他の人の意見になるほどと思うことが多く、視野を広げられました」。中山さんは「サミットで新しい友だちもたくさんできました」と話しました。

サミットのクライマックスでは、「よりよい世界をつくるためには」という全体のテーマに対する提言をみんなでもまとめた。ステージ上がった代表のこども記者だけでなく、観客席のこども記者も積極的に発言。「異文化・少子化・CO2」地球の課題は自分事。笑顔あふれる未来に向かって、発信しよう子どもから!という提言にまとまりました。



朝小リポーターの中山さん